

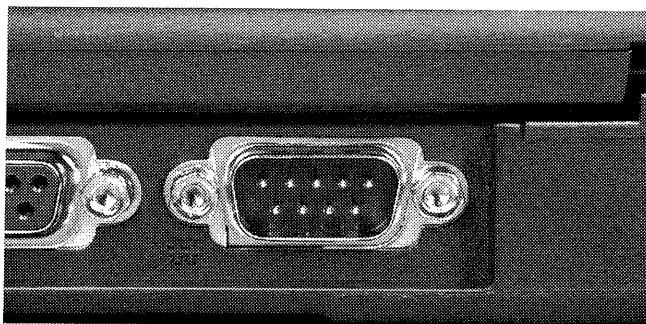
3. マシンセッティング

アプリケーションの動作環境及びセット使用部品

本章ではPC通信によるECUセッティング方法を案内しています。
(※本文の説明は英語Windows2000を使用しています)

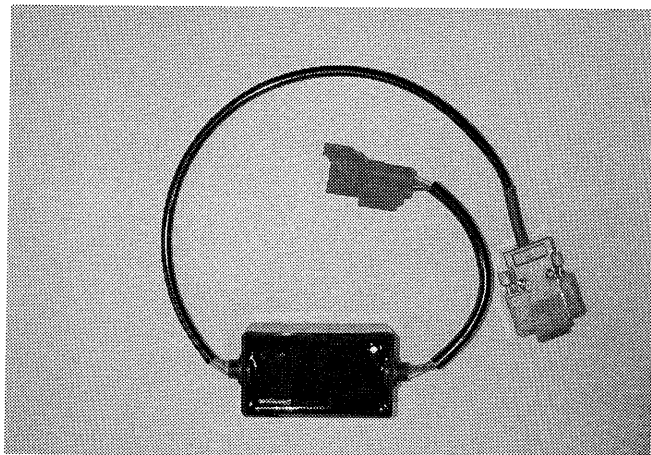
1. 動作環境

- ◆IBM AT互換マシン
- ◆OS : Windows/98/Me/2000/XP
- ◆CPU : Pentium200MHz以上 (推奨)
- ◆メインメモリ : 32MB以上 (推奨)
- ◆表示能力 : 1024×768以上の解像度、256色以上の発色能力
- ◆CD-ROMドライブを有していること (製品はCD-Rで提供される)
- ◆シリアルポートを有していること (ECUとの通信に使用する)



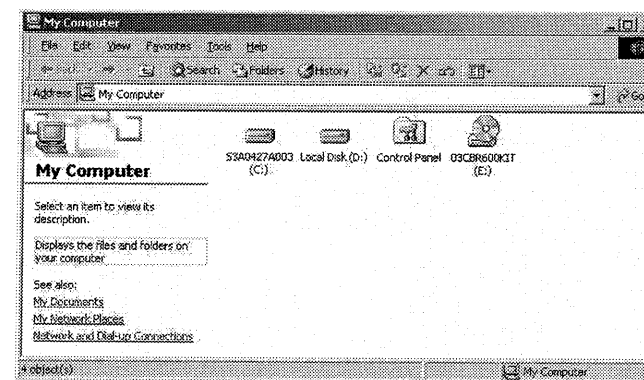
2. セット使用部品

- ◆UNIT, ASSY SERIAL I/F : 38880-NL3-750

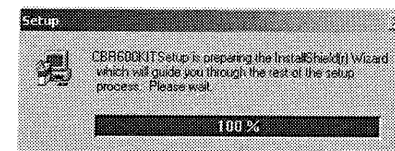


ソフトウェアのインストール

1. CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると自動でインストールを始めます。

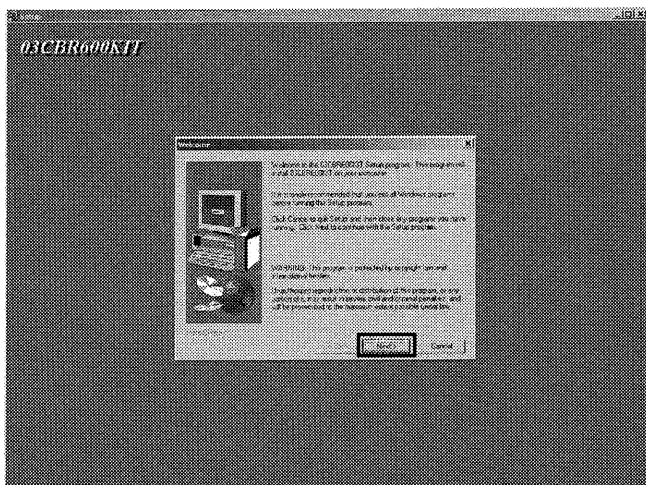


2. 下記の様なウィンドーが表示されセットアップの準備が行われます。

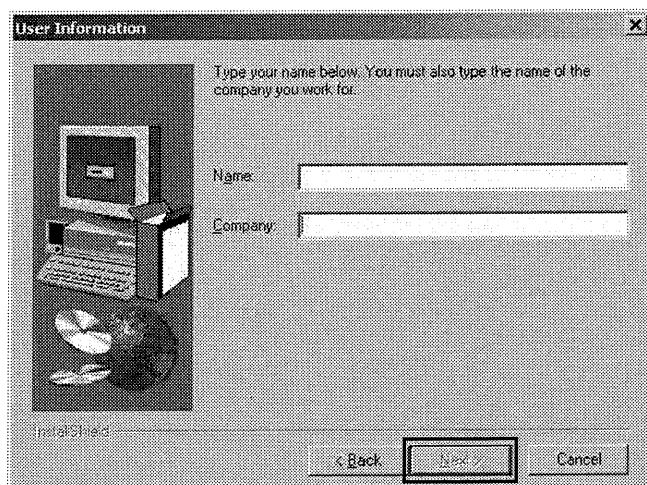


3. マシンセッティング

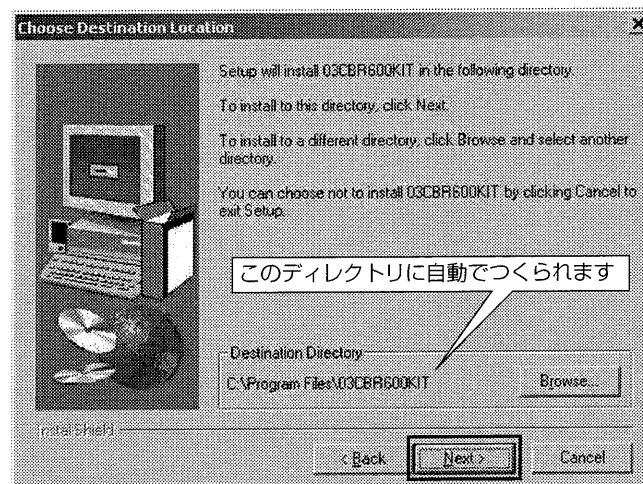
3. 次に下記のような画面が現れます。
セットアップを継続する場合は“Next”をクリックします。
注：開始する前に他のプログラムは終了しておくこと。



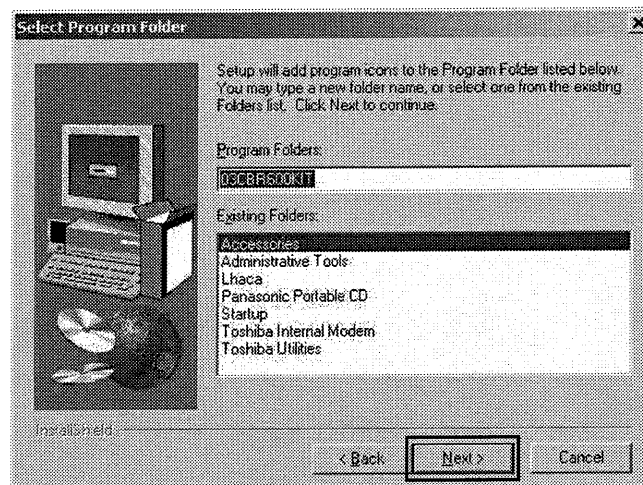
Windowsのバージョンによっては、以下の入力を要求される場合があります。
好きな名前にして、“Next”をクリックします。



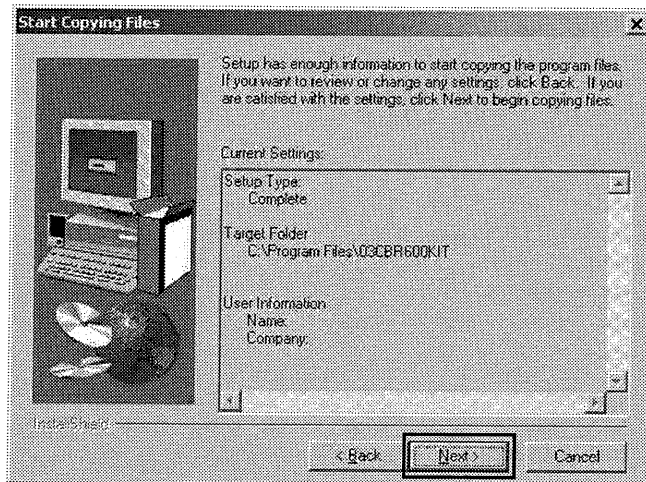
4. ここでインストールするディレクトリを聞いてきます。
特に変更が無ければ“Next”をクリックします。



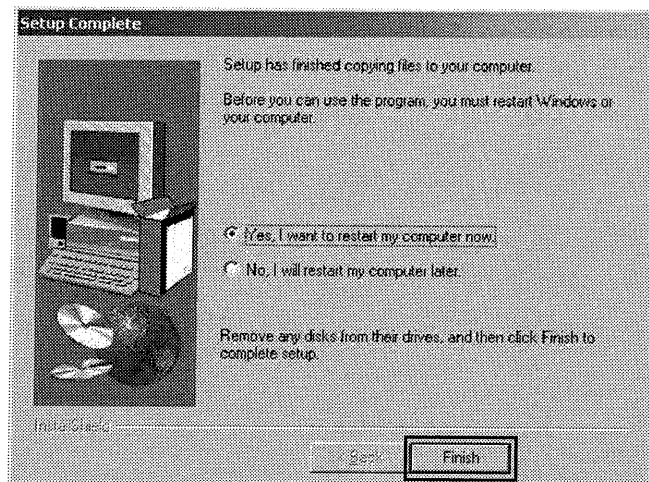
5. ここでスタートメニューへの表記変更が可能です。
変更が無ければ、“Next”をクリックします。



6. インストールするホルダー及び名前等の確認をします。
間違いが無ければ "Next" をクリックします。

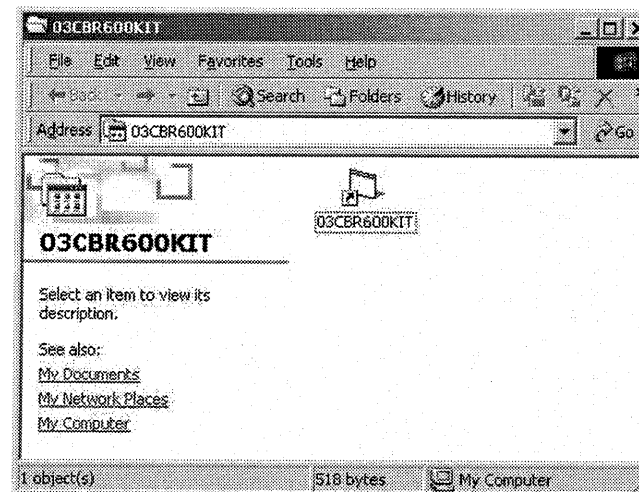


7. コピーが終了すると、再起動を要求してきます。
再起動なしでは、正常に動作しない場合があります。
Finishをクリックすると再起動を開始します。

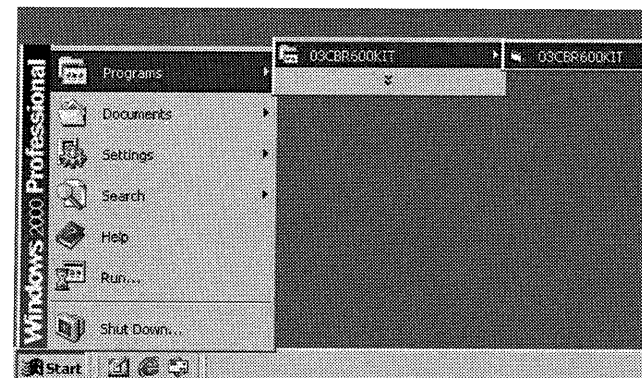


以上でインストール終了です。

インストールが終了すると、下図のショートカットのホルダーが開きます。
デスクトップ等へ移動してお使いください。



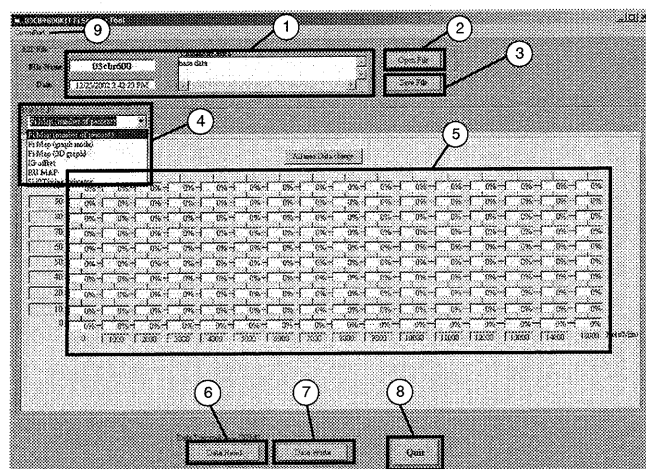
プログラムリスト上から選んで実行することもできます。



3. マシンセッティング

操作画面

セッティングツールを起動すると下記のウィンドウが開きます。

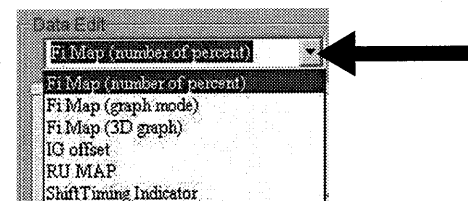


No.	名称	機能
1	ファイル情報表示	セッティングファイルの情報を表示
2	ファイルロード	過去に保存したセッティングデータの読み込み
3	ファイルセーブ	変更したセッティングデータを保存
4	データ編集セクター	変更項目の選択
5	データ表示エリア	セッティングデータの表示
6	データ読み込み	セッティングデータを ECU から転送
7	データ書き込み	セッティングデータを ECU へ転送
8	終了	データ保存なしで終了
9	COM ポート	通信 COM ポートの選択 (デフォルトは COM1)

ご使用になる前に

◆プルダウンメニューについて

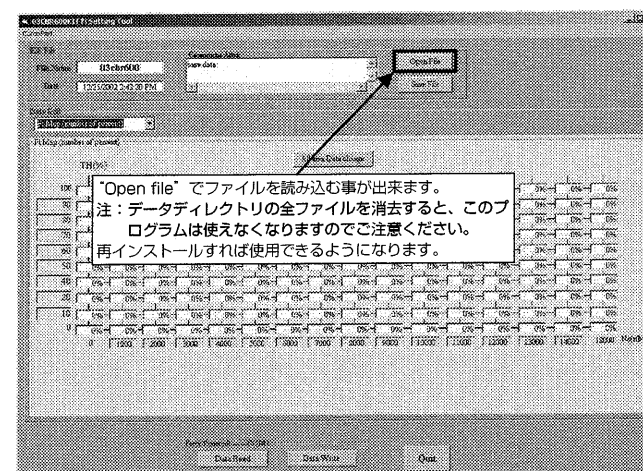
前項のNo4データ編集セクターはプルダウンメニューになっています。



上図の“▼”をクリックすると下にメニューが現れます。
各種項目は、ここで切り替えます。
反転表示になっているところが選択されます。

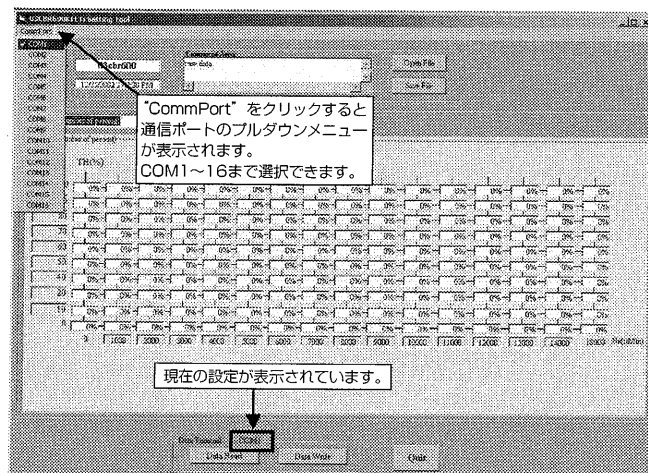
◆はじめて起動した場合

下図のようにサンプルデータが表示されます。

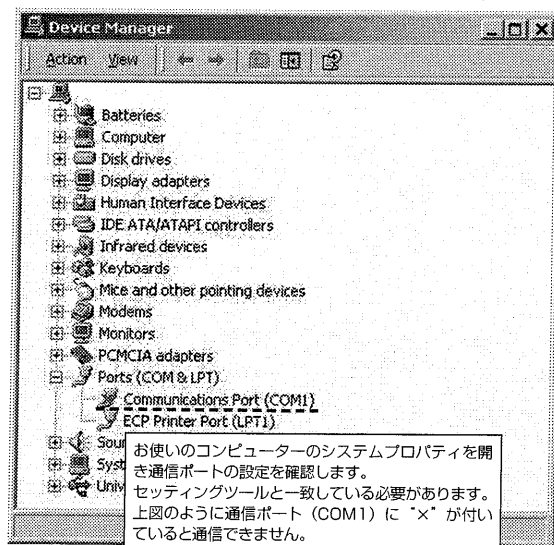


※次回、起動すると前回ご使用になった最後のファイルが自動に開きます。

◆通信ポート（COMポート）の確認

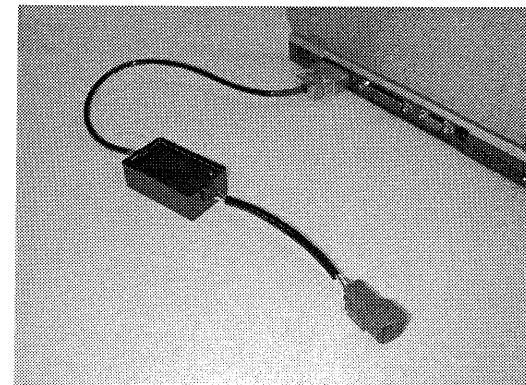


システムのプロパティの確認



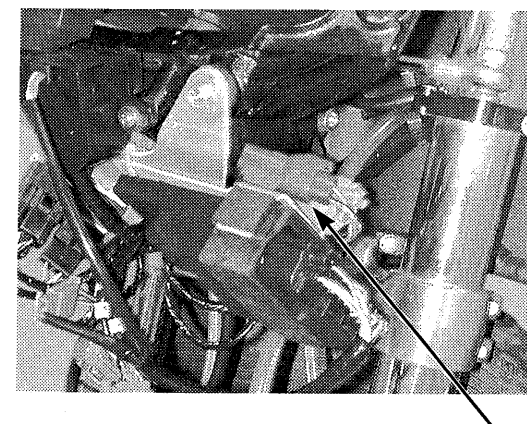
本体との接続

1. UNIT, ASSY SERIAL I/F : 38880-NL3-750をコンピューターのシリアルポートへ接続します。



2. 赤のコネクターを通信用コネクター（4極赤）へ接続すれば通信準備が完了します。

コネクター位置：フロントカウル左



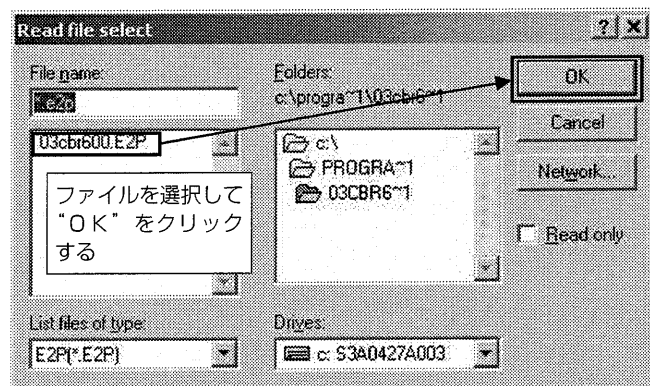
通信用コネクター（4極赤）

3. マシンセッティング

ファイル操作

ファイル読み込み

“Open File” をクリックすると読み込むファイルのウィンドーが開きます。
目的のファイルを選択しOKをクリックするとデータが読み込まれます。



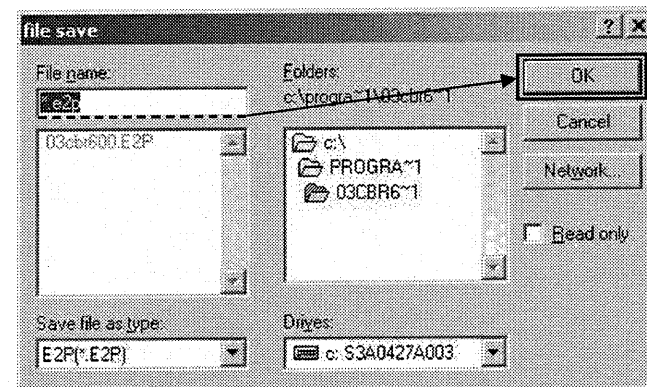
注：表示されているファイル “03cbr600.E2P” はデフォルトデータです。

ファイルロードを中止した場合、下図のウィンドーが表示されます。
継続するには “OK” をクリックします。



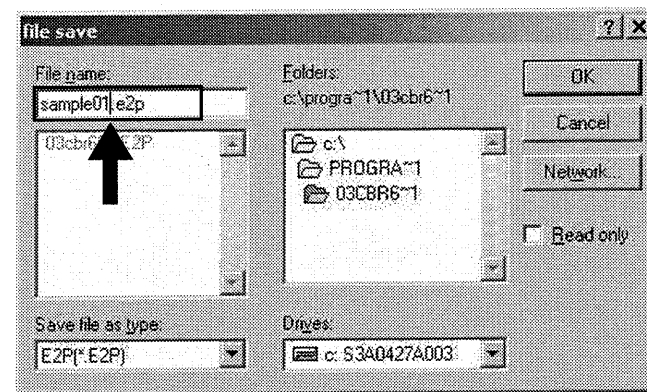
ファイル保存

“Save File” をクリックするとファイルのウィンドーが開きファイルネーム入力を要求してきます。
任意のファイルネームを入力しOKをクリックすると保存されます。



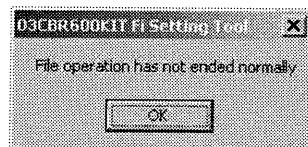
注：ファイルネームに使える文字数に8文字の制限があります。

※ファイルネーム入力時の注意点

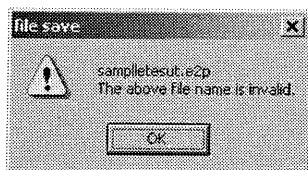


注：“.e2p”の前にカーソルを移動しファイルネームを入力すること。
拡張子（.e2p）を消すと次に読み込めなくなります。（再表示されせん）

ファイル保存を中止した場合、下図のウィンドーが表示されます。
継続するには“OK”をクリックします。



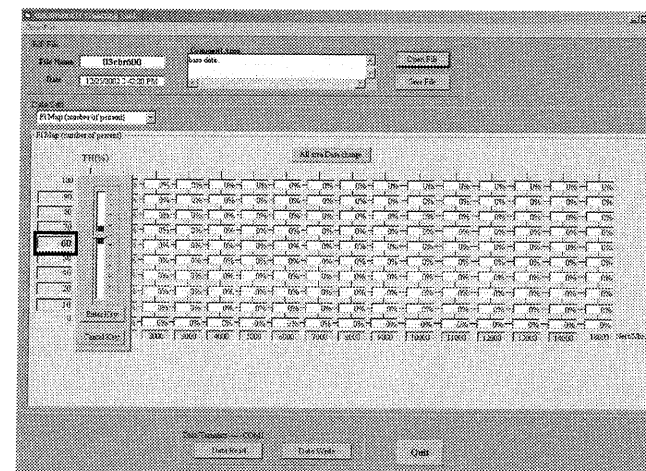
ファイルネームを8文字以上入力した場合、下図のウィンドウが表示されます。
ファイル保存を継続するには“OK”をクリックし、8文字以内のファイルネームに入力し直します。



セッティング変更

TH区分点変更

THの区分点を任意に変更することができます。

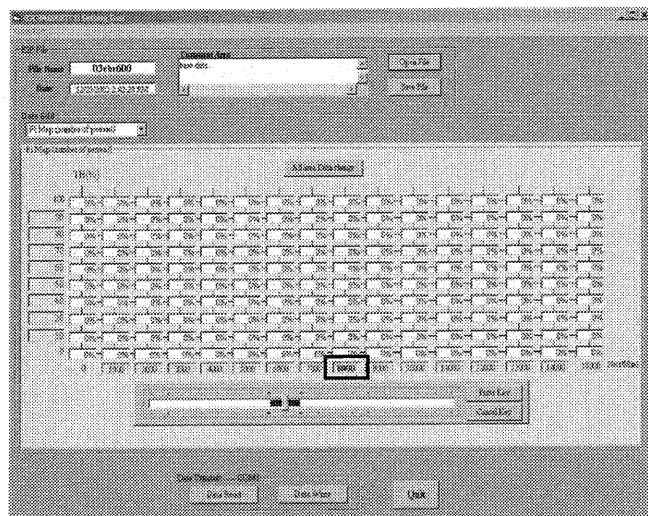


TH区分点、例えば60%をクリックすると上図のようなスケールが表示されます。
両端(0、100%)を除く8ポイントを変更できます。
変更はマウスor↑↓キーにて行い“Enter Key”で確定します。
変更中止は“Cancel Key”をクリックします。
変更できる範囲はスケールのゾーン内です。

3. マシンセッティング

エンジン回転区分点変更

エンジン回転の区分点を任意に変更することが出来ます。



TH区分点と同様にエンジン回転の区分点も変更できます。
例えば、8000rpmをクリックすると上図のようなスケールが表示されます。
両端（0、18000rpm）を除く14ポイントを変更できます。
変更はマウスor←→キーにて行い“Enter Key”で確定します。
変更できる範囲はスケールのゾーン内です。
ここでの区分点の変更は点火時期変更へも反映されます。
但し、混合比マップ、点火時期マップそれぞれ独立して区分点の設定は出来ません。

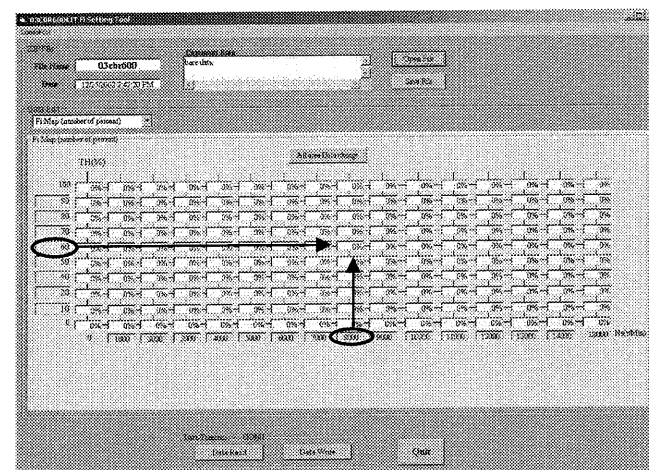
注：TH及びエンジン回転数の区分点変更は“Fi Map”画面のみ行うことが出来ます。

セッティング変更の実践

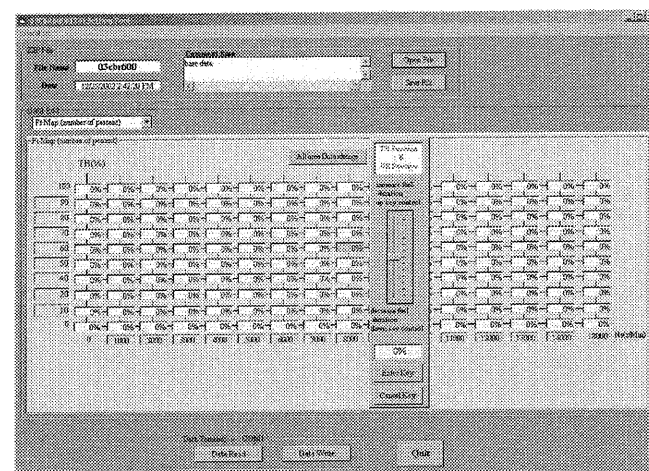
混合比変更はマップ表示とグラフ表示の2種類が選択できます。

1. 混合比変更（マップ表示の場合）

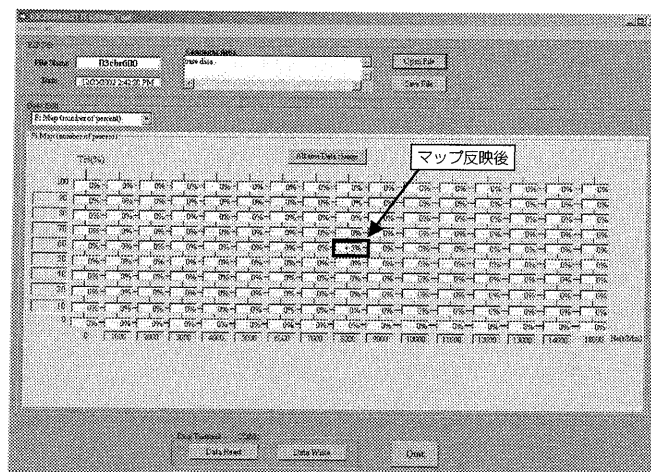
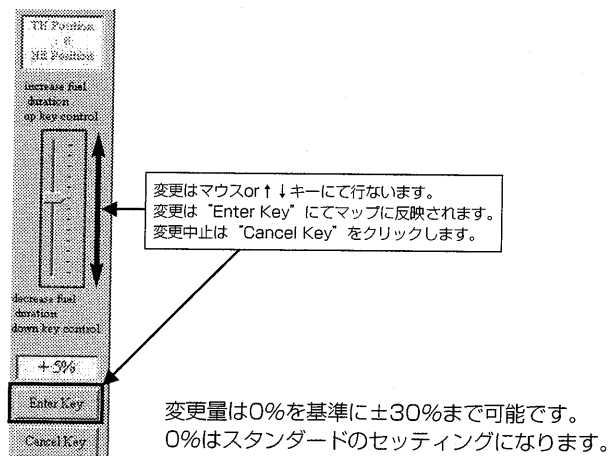
“Fi Map(number of percent)”を選択すると下図のような画面になります。
データを変更するには目的のTH開度、エンジン回転数の交差するポイントをクリックします。



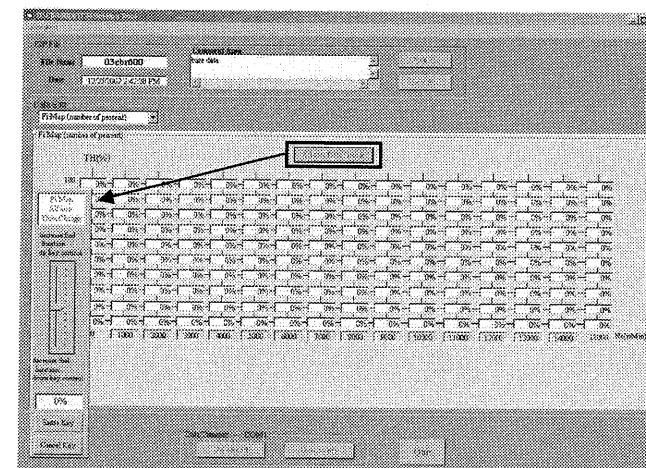
すると下記のスケールが現れます。



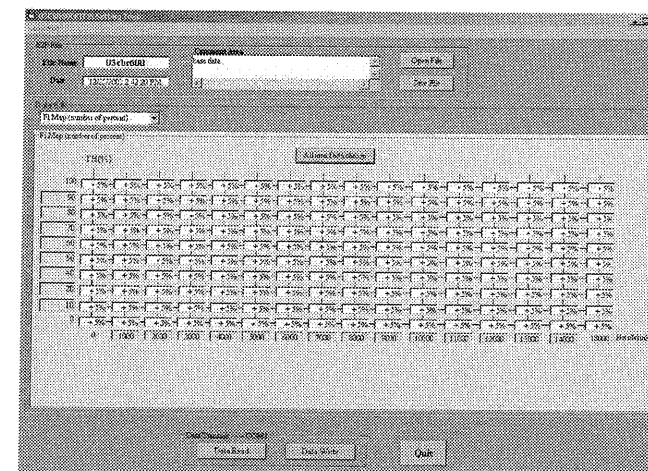
混合比を変更するには



全域一律変更するには



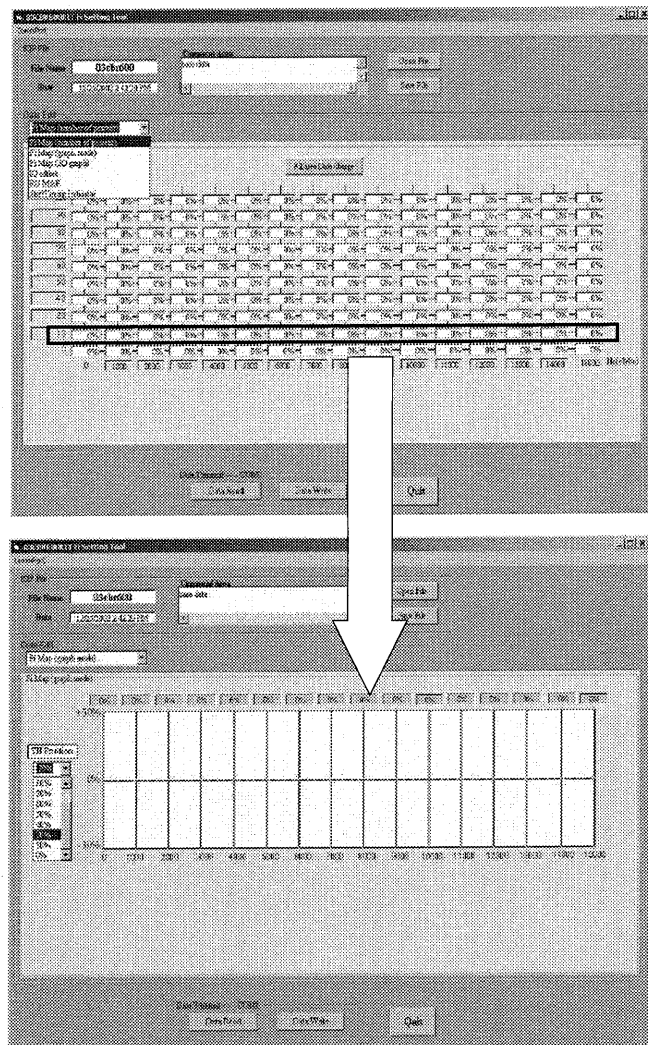
“All area Data change” をクリックすると上記の画面となります。全域オフセットすることが可能となり“Enter Key”で反映されます。但し、全域同じデータとなりますのでご注意ください。



3. マシンセッティング

2. 混合比変更（グラフ表示の場合）

グラフモードはマップ表示の横軸をグラフ化したものです。

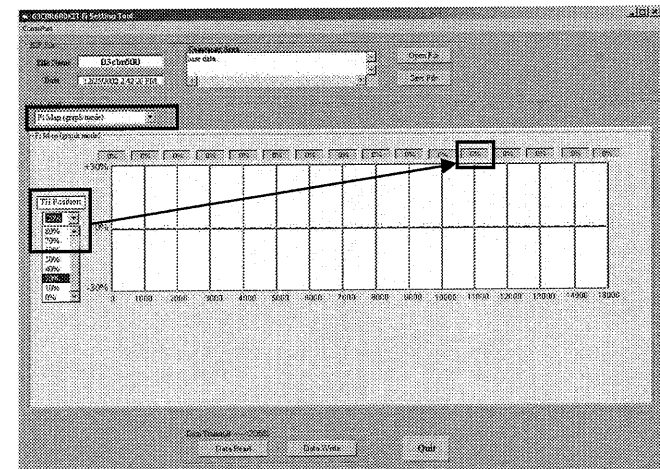


“Fi Map(graph mode)” を選択すると下図のような画面になります。

データを変更するには目的のTH開度を選択します。

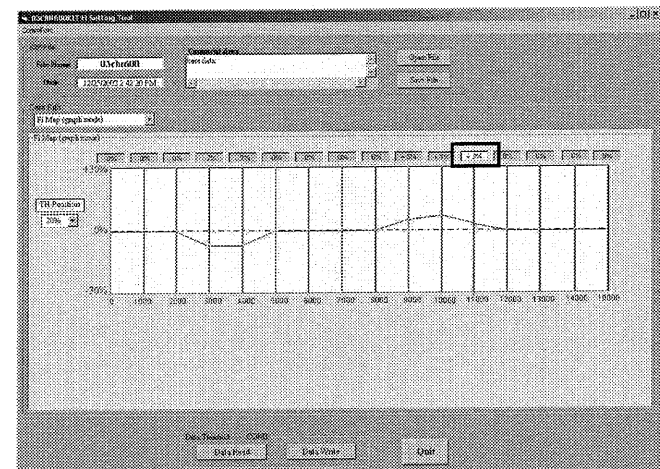
TH開度別にエンジン回転数方向に、現在の設定状態がグラフで表示されます。

ここで変更したいエンジン回転数の補正量表示をクリックします。



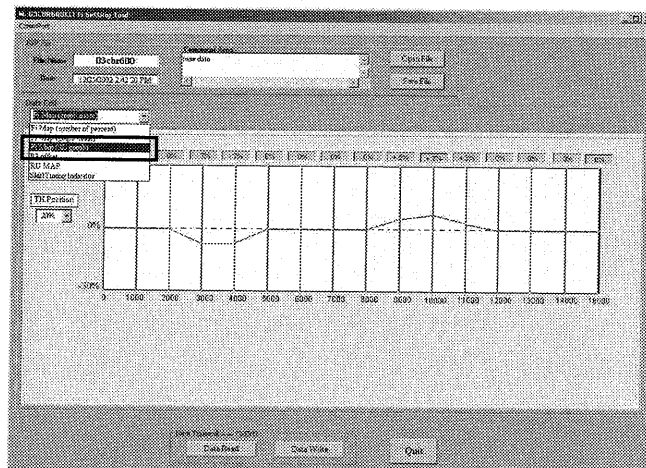
変更可能部分が選択され色が変わります。変更は↑↓キーにて行います。

変更内容はマップ表示にも反映されます

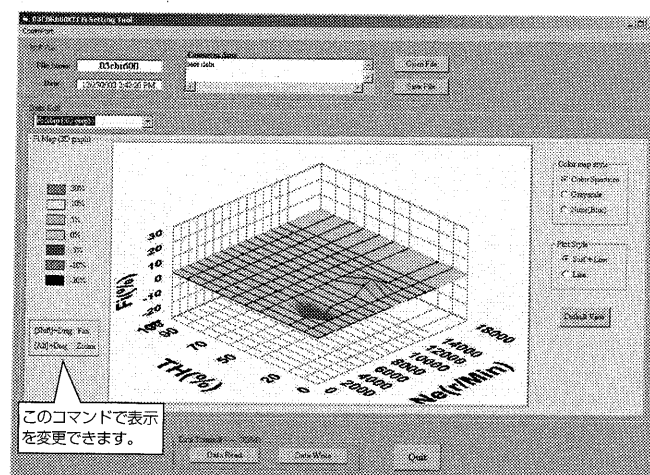


混合比表示 (3D)

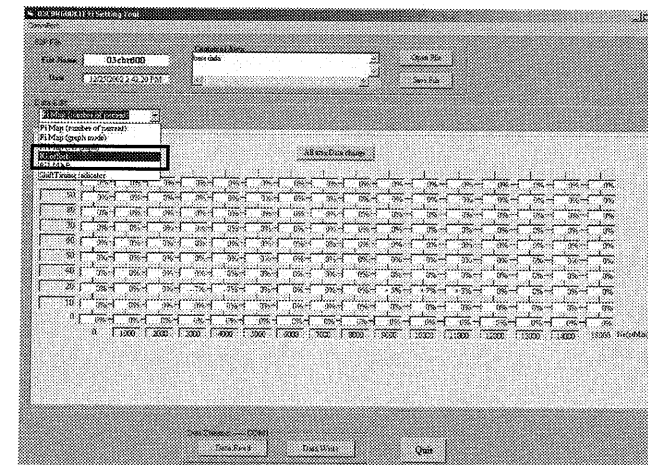
グラフモードを3次元化して見るツールです。(表示のみです)



“Fi Map (3D graph)” を選択すると下図のような画面になります。

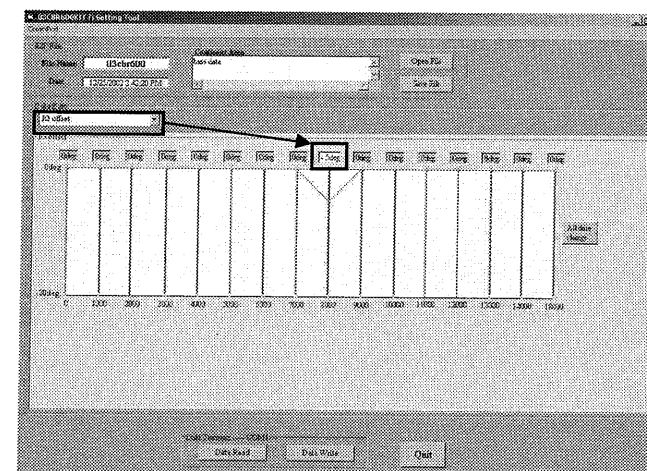


3. 点火時期変更



“IG offset” を選択すると下図のような画面になります。

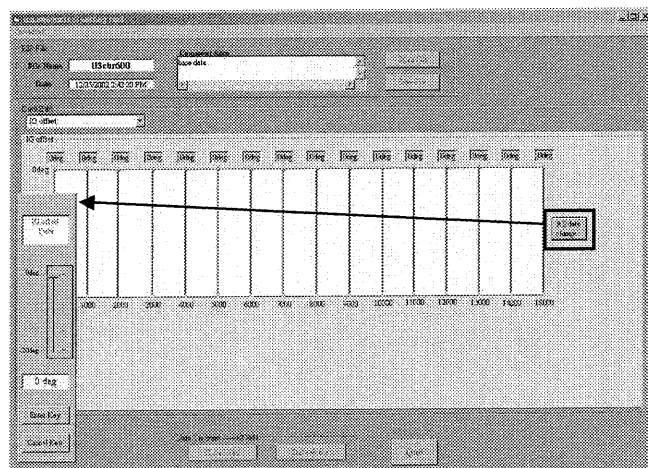
①各ポイントで変更するには



エンジン回転数を基準に変更が可能です。TH開度別の変更は出来ません。
変更するには変更したい回転数の補正表示をクリックすると変更可能部分が選択され色が変わります。変更は↑↓キーにて行います。
変更量は0～20° まで可能です。

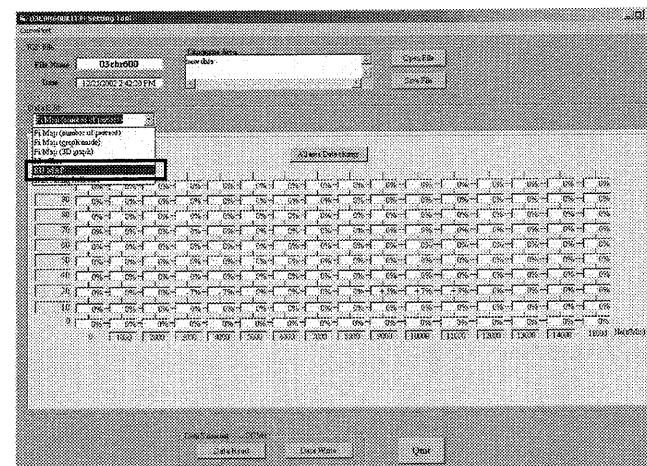
3. マシンセッティング

②全域一律変更するには

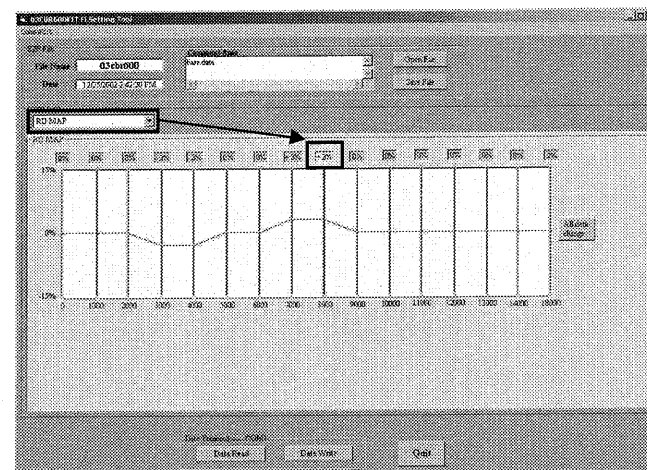


“All area Data change” をクリックすると上記の画面となります。
全域オフセットすることが可能となり “Enter Key” で反映されます。
但し、全域同じデータとなりますのでご注意ください。

4. 上側インジェクタ、下側インジェクタの分配変更
“RU MAP” を選択します。

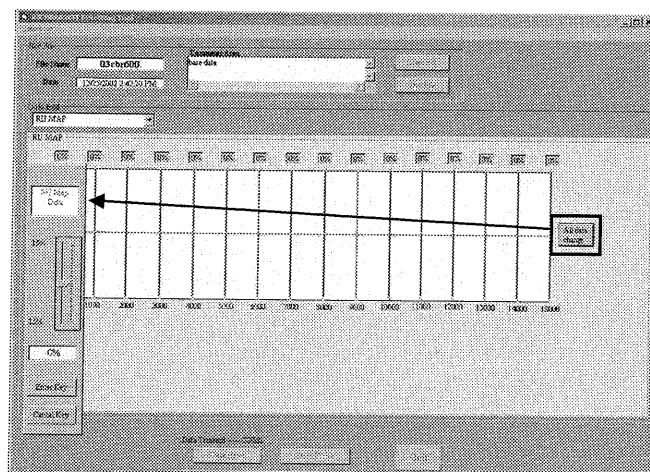


“RU MAP” を選択すると下図のような画面になります。



操作は I G と同様で、RU MAP 回転数表示部をクリックし、変更は ↑ ↓ キーにて行います。
変更量は +15% ~ -15% まで可能です。(基本分配に対する変化量で、+は上側インジェクタが増量します)

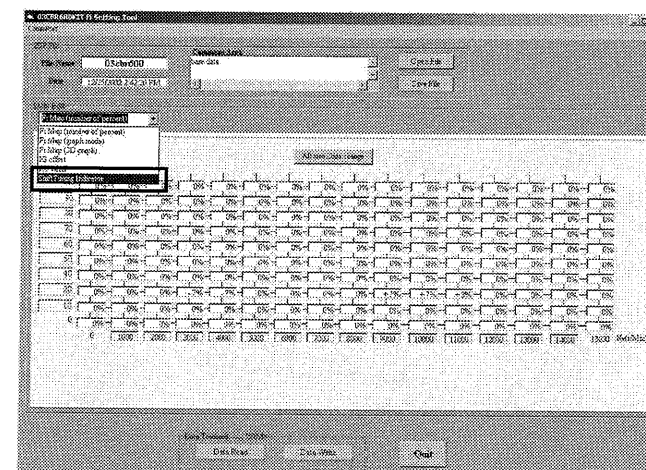
全域一律変更するには



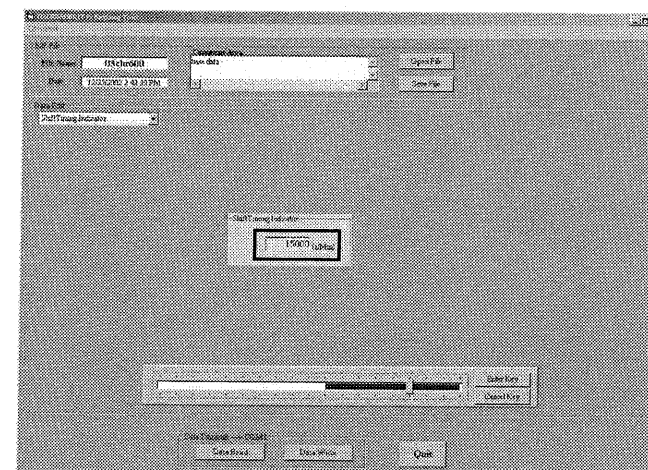
“All area Data change” をクリックすると上記の画面となります。
全域オフセットすることが可能となり “Enter Key” で反映されます。
但し、全域同じデータとなりますのでご注意ください。

シフトアップインジケータ設定

タコメーターパネル内のインジケータを任意の回転数で点灯することが出来ます。



“Shift Timing Indicator” を選択すると下図のような画面になります。



Shift Timing Indicatorの回転数表示部をクリックすると上図のようなスケールが表示されます。

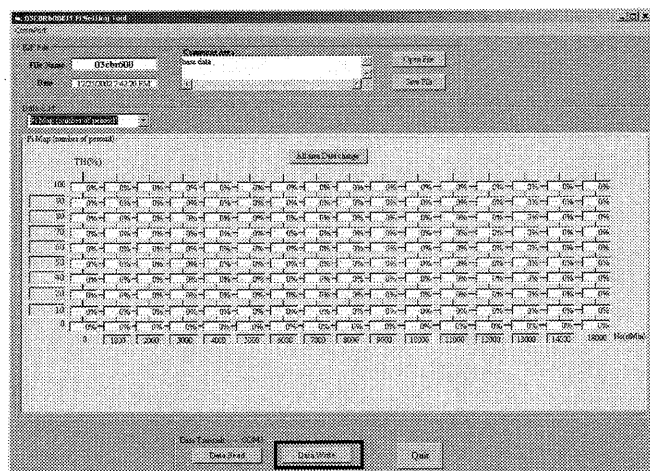
変更はマウスor←→キーにて行い “Enter Key” で確定します。

変更できる範囲は10000rpm～18000rpmです。

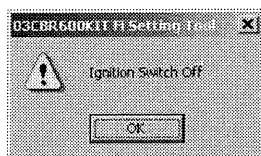
3. マシンセッティング

セッティングデータの転送

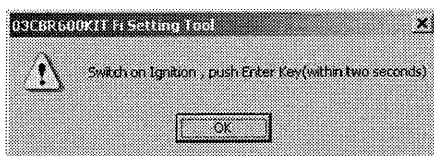
データ送信 (PC→ECU)



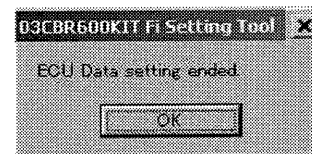
“Data Write” をクリックすると、下図のウィンドーが表示されます。



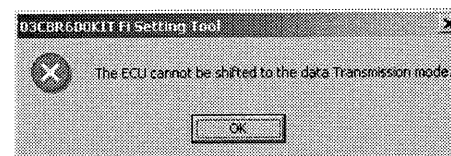
メインスイッチをOFFにします。



メインスイッチをONにし、2秒以内に “OK” をクリック、又はEnterキーを押します。
正常に通信が完了すれば下図のウィンドーが表示されます。



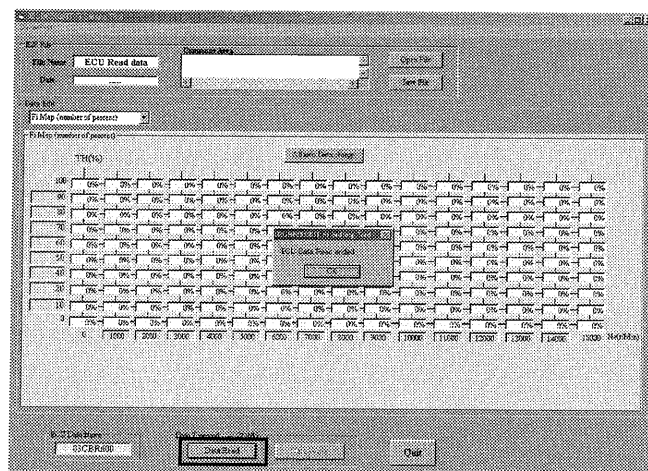
通信が正常に行われなかった場合は、下図のウィンドーが表示されます。



接続、及び通信設定を確認の上、もう一度 “Data Write” をクリックしてデータ送信やり直してください。

データ受信 (ECU→PC)

“Data Read” をクリックするとECUの設定データが引き出すことができます。
Data Writeと同様の手順の後、通信が完了すると下図のようになります。



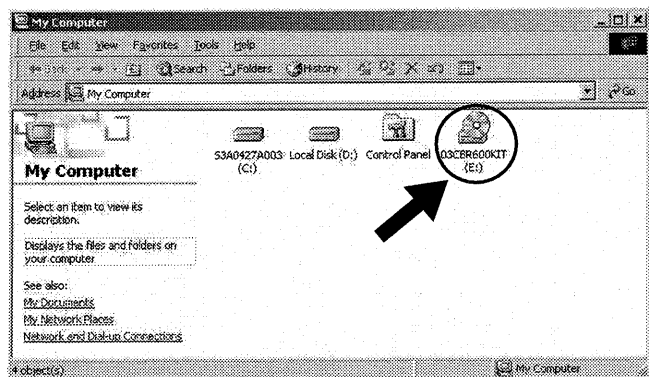
トラブルシューティング

No.	事象	原因	対策
1	インストールできない	操作の仕方が分からない	※ 1 参照
		CD-ROM ドライブが認識されていない	ドライブを認識させてからもう一度試してください
		CD-ROM 不良 (深い傷がついている等)	HRC サービスへ問い合わせ下さい
2	動作しない	OS とのアンマッチ	対応 OS は Windows98/Me/2000/XP です
3	通信できない	シリアルポートの設定不良	※ 2 参照
		ECU の電源が入っていない	電源の確認
		通信ケーブル接続不良	接続の確認 (本体との接続の項参照)
		転送のタイミングが悪い	エンジンストップスイッチ ON 後 2 秒以内にリターンキーを押し転送する (データ送信の項参照)
		ECU から読み込んだデータが送信できない	読み込んだままの状態では転送できない設定になっています 送信するには、一度読み込んだデータを保存する必要があります (データ受信の項参照)

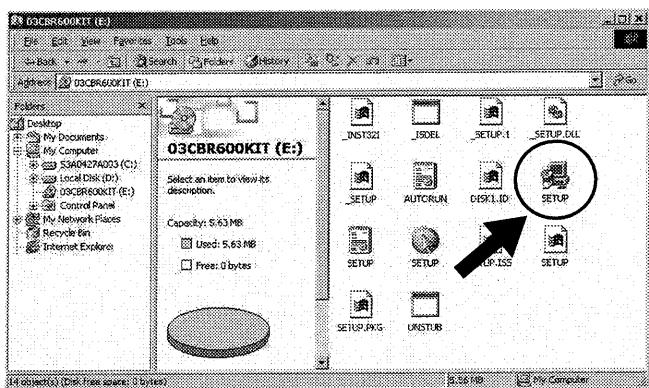
3. マシンセッティング

※1：CD-ROMドライブ

通常は、CD-ROMを挿入するとセットアップが自動的に始まりますが、始まらない場合は下記を実施ください。
マイコンピュータアイコンをクリックするとウィンドウが、下図のように開きます。
ウィンドウ内にCD-ROMドライブのアイコンがありますので、そのアイコンをクリックすることによりインストールが開始されます。



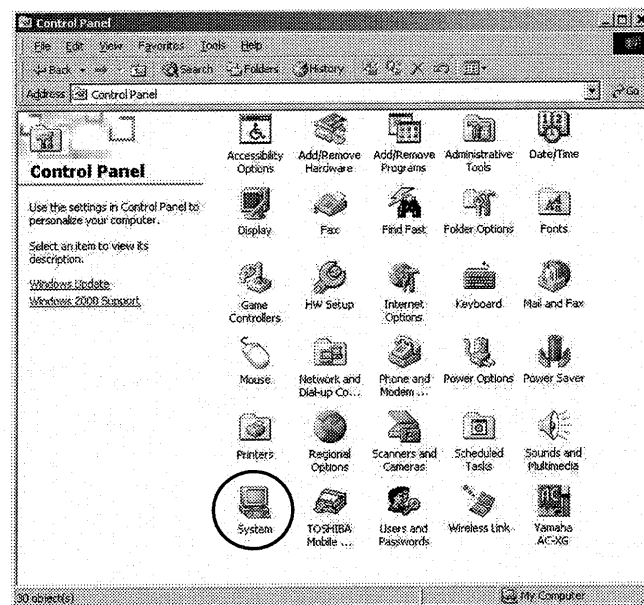
CD-ROMをクリックしても、インストールが始まらない場合はエクスプローラを開き、CD-ROMの中のセットアップをクリックします。



CD-ROMのアイコンが表示されない場合は、お使いのコンピューターにCD-ROMドライブが搭載されていないか、認識していないと言えます。
ご使用のコンピューターの取扱説明書でご確認ください。

※2：シリアルポートの確認の仕方

コントロールパネルを開きます。
システムを選択し、クリックします。



システムのプロパティのウィンドウが開きます。
ハードウェアのタグを選択し、デバイスマネージャーをクリックします。

